

1985. 7. 31 発行

No 79

あいられん連絡先  
細田 英理子  
TEL 644-2927

通信担当  
松平明美  
782-3338

— 今月のなかみ —

例会報告	--- 1.2	児童扶養手当	--- 5
村瀬さんから手紙	--- 2	全国運営会議報告	--- 6
5月例会余韻	--- 3	8/25合宿案内	--- 6
6月例会余韻	--- 4	私か、誰かの本	--- 7
10%集会案内	--- 4	情報	--- 8

## 女が装うということ

フェミニズムは、制度だけでなく、意識の改革をめざしている。装うことの中にも大きな意識面の問題がありそう。例会では、自分の着ること「オシャレ」に関する意識を語り合った。

今、体への負担、苦痛を感じながらも「美しさ」のために頑張っている人は居らず、皆、機能性、清潔さ + 自分の好みで選んでいる。各自、かけているエネルギーは様々だが、それぞれ慣れてしまっているようだ。また、日常の服装に対して、時々まからりと違う格好をする、といったオシャレを気分転換、変身願望の充足など、一つの楽しみとして肯定的にとらえており、「オシャレ = 男にエゴを売ること」といった感じはなかった。

もう一つ、女だから女らしい服装、ということばかりでなく、「良いところ奥様らしく」「会社員らしく」といった

# 7月

## 例会報告

社会役割の7  
クによる服装  
の規制の存在  
を、多くのメン  
バーが感じてい

た。「white Jean」はいいけど、Pinkのタイトスカートはさすがにはけない。「銀行の窓口勤務になる時に化粧するように言われた、「頼むから口紅だけでも」と」等々。結婚式の服装、参観日の母親などの例からも、各TPOでの服装の選択の幅が広がり、自由度は満たしてはきているが、また「場ちかいな格好」「とっぴな服装」という感覚もある。白石冬美さんの「オシャレにためらいは不要よ」という、遂に今の服装観、美意識の画一性を改

めて感じさせる言葉も紹介された。  
 面白いというか、私かやや安心  
 ？したのは、「現代の女でん足」とい  
 われるハイヒールと「きれい」かと思  
 う「好き」という人の多いこと。はく痛  
 さは、皆充分承知の上だが、それで  
 も、というのは、私たちの美意識か  
 いかに社会的に作られてきているか  
 を示すのだろうか。同じように和服か  
 好き、というも、タイトスカートが好き  
 というのもあった。ある面では、女性  
 にとって屈辱的であるはずの装い  
 なのに、女自身かそれを美しい  
 と感じ、好んで装う。私たちか、  
 自分の楽しみ、として、自己表現とし  
 て装っているつむりの今でも気づか  
 ない落とし穴が多いのかと知りな  
 いと思う。



高橋 さま。

どーも!! お年終おめでとう。  
 あらら「あごら」知ってますヨ。  
 あごら湘南や名古屋の高橋さん  
 とはお会いしたこともありません。  
 えー、オモシイ小冊子をお送りし  
 ました。書いている。  
 みなさんでお話聞きたいなげたら、  
 思っています。  
 それから、雑誌の特集8月号(今号、211)  
 やつです。佐野評子小姐に  
 います。よしかたう書店で4ふと  
 立ち読みでもどーぞ!!  
 村会かあたらお会いしたいですネ。  
 お元氣で!!  
 1975.2.7 村瀬春樹

私自身、ようやく肩を張らずに、着ること、  
 を楽しめるようになってきた。か、それと  
 同事に仕事に熱中して、「なり振り構わぬ」  
 女の友人を見て「ああまではなりたくない」  
 という反感を強く感じるようになって  
 いる自分に気づく。「仕事も恋愛も遠  
 者な、女らしさを失っていない女性……」  
 といういかにも男に都合のよい女性  
 観、美意識に染まっているだけでは  
 ないかのかと不安に思ったりする。

ある意味で、不合理、非理性的  
 な美意識、価値観の世界。何か本  
 当に女性解放の方向かを見きわめ  
 るのはむずかしい。これから、本  
 音でじっくり話しあいたいテーマだ  
 と思っている。

久須美 庚子



怪作!  
 ハウスハズバンド  
 の村瀬春樹さんから、高橋さん宛  
 に手紙と本が送られてきました。  
 ニューセクソロジー  
 —万國の労働者よ主夫化せよ—  
 読んで思わず笑いこぼしてしまいました。  
 「あごら礼儀」の図書にカマえてあ  
 きますので是非御一読を!

# 5月例会 余韻

資料と報告、ギモン、意見、その他もろもろ...

私は、5月例会にも、ましてスライド上映会には参加していません。少々まともはすいかもしませんか、資料を見た時から思っていたことをウツ。

○ 集會に男を入れる入れないは、画一的に言うことはなく、主催者側か、その集會の目的を設定した時に決まると思う。その点で、スライド上映会主催者側は、つめが足りなかった。ほとんど集會の混乱はその一点に尽きるのではないだろうか。

ともかくも集會に参加してしまつた人に対し、事前に知らせることもなしに発言をさせないのは、手続きとしておかしい。おそらく男性も、発言を求め司會者に認められて発言したのだらうと思う。そうであれば、司會者は発言させるべきだし、あるいはその時点で、この集會の目的を説明し、男性の発言はいらないとか、あるいは単に最初から発言させないべきだった。

型とおりにおさめることが目的ではない。たか、少くとも混乱したままでは集會の目的、性意識

を見つめ直すということが建設的にできるとは思われない。

もう一つ気になること。女の問題は女にしかわからない、とこの人は思っているのではないけれど、いわゆる「女の問題」は男と女の問題だと私は思っている。しかも、「男の視点」は私の中に勝手に入りこんでいるし、「女の視点」に只感できる部分で男性にはある。そこを認め広げていかなければ進歩かないのではないか。

残念なのは「男」と「女」ということにこだわったこの人が、仲間の女性を「男にやさしく、女に冷たい」ととらえたこと。男がやっているから女もやっていいというものではないはずだ。その仲間の女性達は、女性の発言が封じられた時やはり今回と同じく、発言を封じられた側にやさしく、封じた側に冷たいのではないか。

正直なところ、このヒト余裕ないなあ、とこのテの経験がない若い学生は思うのであります。

後藤 晶子

# 6月例会 余韻

花崎皋平さんからハガキを頂きました

前略、いつも「あごら」ありがとうございます。

6月例会のテーマとなった「ひとと三つ葉」の論争は、大変重要な問題だと思いました。どういった論議になったのか、関心がありました。業績=能力原理と帰属原理(女性の3連ぬというグループへ帰属していること)という二つの原理の相克といった

見地からです。

なかなかスッキリした結論が、現実の上では出なくてあたりまえですが、持続的に深めて考えていかれることをねがっています。「社会科学」の考え方を、日常生活の理で考えるのに恰好の材料だと思っています。

不-



## あごら札幌10周年 フェスティバル

女が変わる時 社会が変わる  
— 女たすの10年 —

講演

ショー

ショートドラマ

いろいろバザール

小沢遼子

女らを装う (服装を通してみる女の歴史)

私の仕事開始宣言

コーヒーカー、産直野菜 etc

とき

10月5日

ところ

婦人立化センター

参加費

600円 (託児付)

連絡先

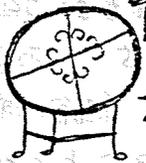
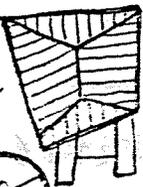
細田 (644-2927)

細谷 (823-0738)

— 4 —

準備にご協力下さい  
手や知恵を貸して下さい  
ご自分も楽しんで  
一緒に作りあげて  
んか

集  
会



参加記

# 児童扶養手当改悪

反対する会の報告集会に参加して

丹藤 正代

反対する会、ハンドインハンドなど、活動の主力メンバーに竹村泰三さんを加え、20人位の小さな集会でした。竹村さんからの国会の経過報告の後、自己紹介をかほすの雑談。話は福祉課の相談員のひとこに集中しました。母子家庭＝生活保護という状況ですから、この場にいたほとんどの人が生活保護の相談にはいらているのですか。今まであんなにも口惜しい思いは、したことか、ないという感想が多いのです。特に評判の悪いのは東区と白石区の福祉

課ですので、いざ離婚という節は、この地区の人は人世の区へ引越したほうがいいかもね。娘達(中高生)にアルバイトをさせなさいとか、"警察に相談して父親をさかしてもらいなさい"等、人権を無視した発言に耐えらぬ人だけが生活保護費をもらえるという現状のようです。実は今回の集会も反対する会の解散を提案する予定だったので、福祉課の問題点(つまり悪口)を許しているうちに、お酒の勢いも手伝って反対する会は解散しないで続行することになりました。次の日代表の大場さんは"どうしてこんなことになったのか、よくわからない"と書いていました。

## 児童扶養手当制度 改悪案 ついに成立

主な『改正』点

- ① 法の目的を「児童の健全な育成」から「母子家庭の生活の安定と自立の促進」に変更する。
- ② 全額国庫負担としていたのを、国8割、都道府県2割とする。
- ③ 手当(月額)の年収別による支給額(母子2人世帯の場合)を年収171万円未満(手当額3万3千円) / 171万円以上300万円未満(同2万2千円)とする。300万円以上は支給対象外とする。経過措置として改正法施行から1年間に限り、年収300万円以上361万円未満の人も月額2万2千円支給される。子ども2人目以降の加算額は、現行通り2人目が5千円、3人目以降は2千円。
- ④ 離婚した父の年収が750万円以上の場合を支給対象からはずす。この条項は扶養義務の履行状況、父の所得の把握方法を勘案し、政令の定める日から施行する。
- ⑤ いわゆる未婚の母は現行通り支給対象とする。支給期間も現行通り、子どもが18才(障害児は20才)になるまでとする。

— 改悪に反対する会「明日へのニュース」より —

細谷  
細谷

# ★運営会議に 行ってきました

報告ともしのこと  
No.5 おしほい  
細谷 洋子

運営会議参加記は、前回で終りにする予定だった。かちょうと原稿を書きあげたその日、月刊あごらひが届き、次回の運営会議は鳥取だということを知って、また考えてしまった。

昨年の小橋会議。札幌の私道には有意義だったし楽しかった。しかし、運営会議としてはどうだったのだろうか。一人の運営メンバーも出しておらず、従って、事務局の状況も把握できていない私道には、財政問題にせよ方向性にせよ、感想を語るのか、精一杯で、

今具体的に迫っていることをどう切り拓いていくかについては、何一つ語れなかったように思う。

運営会議が地方開催されることの良さは、結局、拠点と事務局、拠点と拠点の交流につきるのではないだろうか。たゞすしは、運営会議とするのではなく、交流と学習をはっきり目的にした夏期女性問題セミナーのような形の方が良いのではないか。運営のための会議は、その機能をはっきりさせた上で、やはりメンバーが最も集り易い形をとるべきではないかと思う。

## 合宿案内

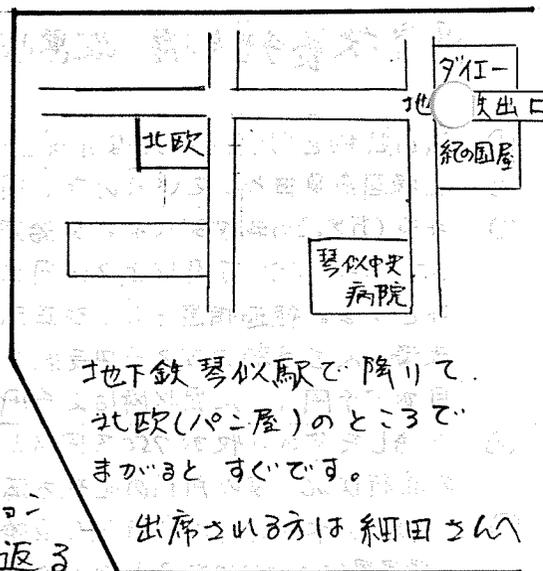
8月24-25日

場所 細田宅 (644-2927)

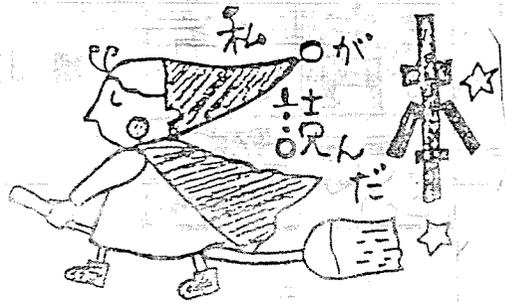
会費 2,000円

合宿プログラム

24日	7:00 ~ 9:00	交流
	9:00 ~ 11:00	近況報告
	11:00 ~	ミーの準備
		フリーディスカッション
25日	10:00 ~ 12:00	報告集をふり返る



# 何かをしたい 主婦のために



「主婦の壁を破るセミナー」の記録 東海BOC可能性教室  
学陽書房 1100円

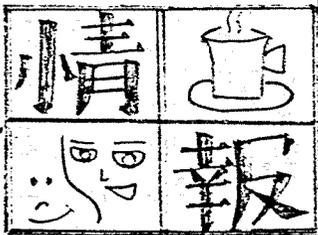
## 何かをしたいけれど、でもどうしたら...

共通の問いかけをもつ主婦たちが、何か自分のネットワーク、  
なにかを見きわめるなかで、自己実現への一歩を踏み  
出した記録集です。東海BOCから寄贈されました。

将来有望で経済力のある男をつかまえて結婚するのがあかたの女の夢。そのせわかつ手に入れた幸せな家庭生活に、夫の氣にいらぬことをして波風立てるのは恐い。子どもにさびしい思いをさせたくない。「わかりやう何だ」かんた言われま嫌。結局、この大切な守り続けたい幸せが、主婦が何かをしようとするときの壁になっているのだらう。それらの幸せの条件のどれかかかけると、仕事を待つことも、出歩くことも、少なくとも自分の作った壁はかんたんに踏みこえることができると思う。さて、家庭責任を夫にも少しずつ負わせて、自分一人で背負いにまがいことや、子どもにも精神的自立

をさせること。これが結局は、自分の夫の子どもを幸せにもつなげるのだということにわかったとして、実行に移すのは、どんなにか難しいことだらう。話せばすぐ了解する夫などほんのわずかだらうから、持久戦を覚悟する必要がある。それに耐えるために孤独な戦いにしていまいけないと思う。私も、数年前の「何かしたい」という気持ちから、内職をしたり、地域活動をしたりするうちに、すっかり、仕事をする自信を身につけてしまった。夫の甘えは、たいてい変化したと思えないが。東海BOCの可能性教室みまらなものを札幌でし、作れないものだらうか。(なんだか距離×ファ×ファ...)

松平 明美



■ 映画 「寡婦の舞」「斗牛畜」

84' 韓国映画

時 8月29日(木) PM 2:00, 4:30, 7:00 3回上映  
 所 駅裏8号倉庫  
 料金 前売 / 1,000円 当日 / 1,300円  
 主催 エルフィンラント TEL 231-9775 (PM4:30以降)

■ 青木悦さんを迎えて (仮称)

10月26日(予定)

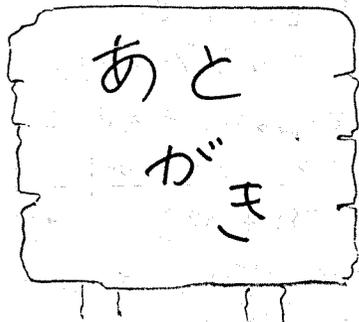
第1回 実行委員会結成

時 8月6日  
 所 ひらひら  
 連絡先 広瀬直子さん  
 (TEL 582-4747)

・知恵と労力を貸して下さい。

青木悦さん

婦人民主クラブ  
 横浜の中学生による湾岸者殺傷事件を取扱し続けた。  
 私達はもとと人を殺して楽は  
 ように育ててはいけない。私達が  
 そういふ社会に加担している。



鉄工場<sup>ひと</sup>で油にまみれて働いている女が近くにいます。  
 どんなに洗ったって、つめの中や肌にしみ込んだものは  
 落ちません。彼女には、化粧もマニキュアも無縁のもの。  
 でも、参観日にはワンピース姿で現れます。オニヤレして  
 お茶飲みながら近所と人の噂話に花を咲かせる  
 のが彼女の夢。服装は、人の生き方、仕事、と無関  
 係では考へられませんね。

松平